

清流苑だより

第11号 (2019年4月30日 発行)
発行者 社会福祉法人 清流苑
〒899-0215 鹿児島県出水市武本5294番地9
TEL (0996) 63-8023
FAX (0996) 62-0113

新年度を迎えるにあたって

日頃から当法人の活動に際し、ご指導、ご鞭撻を賜り、誠にありがとうございます。

2019年度は、障がいのある人も、地域で安心して暮らせる社会の実現を目指して、法人として利用者の方々の自立に向けた取り組みを加速させてまいります。

障がい者の方が、自分の住み慣れた地域の中で、安心して快適な生活を送りたいとのニーズが強まっており、ノーマライゼーションの理念の実現という観点からも、昨年度の国の報酬改定の傾向を見ても、今後より一層この方針が推進されることが予想されます。

昨年度は就労定着支援事業と自立生活援助事業をスタートさせ、清流苑から巣立った利用者の方を、就労先でもサポートできるようになりました。

そして本年は、鹿児島市西伊敷に多機能型事業所「百花（もか）」の認可申請に向け、着実に前進してまいります。

今春も支援学校卒業の新社会人2名が、やはず園の利用を開始されました。またお二人とも共同生活援助事業所一ツ葉の利用を開始されました。障がい者の方の、就労面・生活面のサポートを、法人を挙げて全力で取り組んでまいり所存です。本年度もどうかよろしく願いいたします。

理事長 木下 正嘉



多機能型事業所 百花 完成予想図

2019年度 入社式



2019年4月1日に、社会福祉法人清流苑の入社式（通算6回）を挙りました。出水養護学校から1名、串木野養護学校から1名の計2名が、やはず園での新社会人としての一步を踏み出しました。

中島理事が、「職員一同、皆さんと共に夢や目標を共有し、実現に向け一緒に歩んでいく次第です」と挨拶されました。

串木野養護学校卒業の上野拓夢さんは「寄宿舍での生活とは違い、これまで以上に自分のことは自分で行動し、解決できるようになりたいと思います」と決意を述べました。

やはず園利用者を代表して、安田一馬（串木野養護学校卒）さんが「先輩利用者みなさんが、丁寧に色々なことを教えてくださいますので、安心して仕事に臨んでください」と歓迎の言葉を述べました。

紫尾の里

紫尾の里を応援して下さる皆様へ

本年も出水市等から業務委託をいただいている、豎馬場公園、五万石町緑地公園、ふれあいパーク（流合）、定之段公園の清掃に取り組んでおります。時には地域の方々から「きれいにしてくれてありがとうございます！」とお声掛け頂き、利用者の方の励みになっています。

館内では、バザーに向け着物を解体し、小物を作っています。

また、施設外作業につきましても、企業や市民の皆様と紫尾の里が協働で新たな社会資源を創出していくことで、障がいのある方の就労がスムーズに推進できますよう、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。



社会見学&お花見&ボーリング

3月22日に社会見学（いちき串木野市、日本地下石油備蓄株式会社）を行いました。岩盤タンク掘削に際して使用した作業用トンネルの入口部分を有効利用した展示館でした。利用者の皆さんには、石油備蓄の必要性、重要性、また、水封式地下備蓄のしくみ、特長や安全性についての理解を深めていただきました。

その後、お花見（観音ヶ池）とボーリングに行きました。数年ぶりのボーリングに「1回だけでは物足りなかった！」の声があちこちから聞かれ大盛況でした。



生活訓練報告

生活訓練では2月に宮之城の鶴田ダムといちご農園へ企業見学へ行きました。普段みることのないダムやあまり経験することのないいちご摘みやパックの梱包などを体験させていただきとても中身の濃い見学となりました。

また、3月には外部講師をお招きしてフライングディスクの指導やニュースポーツの体験などをして運動不足の利用者さんは終わったあと筋肉痛になるほど体を動かし楽しい時間を過ごしました。

4月にはいちき串木野にあるサクラカネヨ工場へ社会見学に行きました。醤油やみそなどが出来あがるまでの工程を見学させていただき皆さん興味津々でした。このようにそれぞれの課題に応じ就労を目的とした企業見学や、余暇の過ごし方を学ぶための外出支援も多く行っています。



新入社員紹介

今年度もやはず園には、養護学校を卒業された2名の方が入社されました。

2名とも、やはず園プロジェクトや、現場実習を経て入社されましたが、まだ慣れない作業や、苦手な作業には、苦戦する事も多くあります。しかし、そんな時に先輩たちが自然と声をかけ、教えてくれている姿も多くみられます。

教えてもらう側、教える側が共に学んでいく姿を見守りつつ、職員一同、今年度も気を引き締めて支援にあたっていきたいと思います。



- ①濱崎 規希
- ②出水養護学校
- ③苦手な作業やきつい仕事も、一生懸命頑張ります！



- ①上野 拓夢
- ②串木野養護学校
- ③コミュニケーションをしっかりとりながら、皆さんと良い関係をつくっていきたいと思います。

①名前 ②出身校 ③今後の目標

2019年度 歓迎会

4月6日(土)に、やはず園で、毎年恒例の歓迎会(バーベキュー)を行いました。1週間を終えての感想・今後の抱負を発表し、皆から大きな拍手で迎えて頂きました。



作業の紹介

やはず園に見学に来られる方の殆どは、クリーニングは女性が多い職場だと思われがちですが、実際は沢山の男性利用者がクリーニングで働いていることを知り、驚かれる事も少なくありません。

やはず園の利用者は男性が多いこともあり、色々な場所で活躍されていますので、今回はクリーニング以外の作業をご紹介します。

○老人ホーム内厨房 切り込み作業

ここでは2名の男性が作業をされています。そのうち1名はやはず園に来るまで、まともに包丁を握ったこともありませんでしたが、練習を重ね、まだまだ一人前とまではいきませんが、1人で任せられるようになりました。

○家守作業

年度末は異動シーズンで、アパート等の清掃依頼をたくさんいただきました。こちらの作業に入られているのは、基本的には男性ばかりですが、次の方に気持ちよく入っていただけるよう、細かい部分の汚れも丁寧に落として、一生懸命清掃に取り組んでいます。



清流苑からのお知らせ

ライフトレーニング フェスタを開催します

清流苑
第1回 ライトレーニングフェスタ
(生活訓練 体験会)
2019年4月27日(土)
5月2日(木) 参加費無料
第1回のテーマ:「自分のできることを増やそう」

第1回のテーマ:「自分のできることを増やそう」

できないことを できるように
できることは よりできるように
それが自立訓練(生活訓練)です!

第1回「体験」・「運動」・「学び」を体験!

調理実習
スポーツ体験(フライングディスク)
学習会
「自分のできることを増やそう」

TEL: 0928-95-5334 FAX: 0928-95-0115

紫尾の里、生活訓練体験会(ライフトレーニングフェスタ)を開催します。

期日は4月27日(土)、5月2日(木)です。調理実習や体力作り、学習会やハーバリウム制作体験など、活動内容も盛りだくさんです!

楽しい体験会になること間違いなしなので、気軽に参加されてください!



ご活用ください! NEXTAGE & Welfare

2018年7月より、就労定着支援事業所NEXTAGE、自立生活援助事業所Welfareが開所しました。これまで、やはず園から一般就労が決まった場合は、障害者就業・生活支援センターと連携し、定着へのアフターフォローを行ってきました。

就労定着支援事業所NEXTAGEは、就労後、半年後まではやはず園がアフターフォローを行います。その後サポートを希望する場合、就労定着支援事業の契約を結ぶ必要があります。3年を超える前には障害者就業・生活支援センターへ引き継ぎます。(やはず園以外の方も利用可能です。)

自立生活援助事業所Welfareは、福祉系サービスを利用した後に、一人暮らしを始めた障がい者の方をサポートしていくサービスです。自立生活における環境の変化や課題に対応できるようにサポートしていきます。

私たち清流苑は積極的に情報発信を行います

公式LINE@



公式



公式HP



公式Facebook



公式Twitter



清流苑 出水市 で検索!